

TFB502シリーズ 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

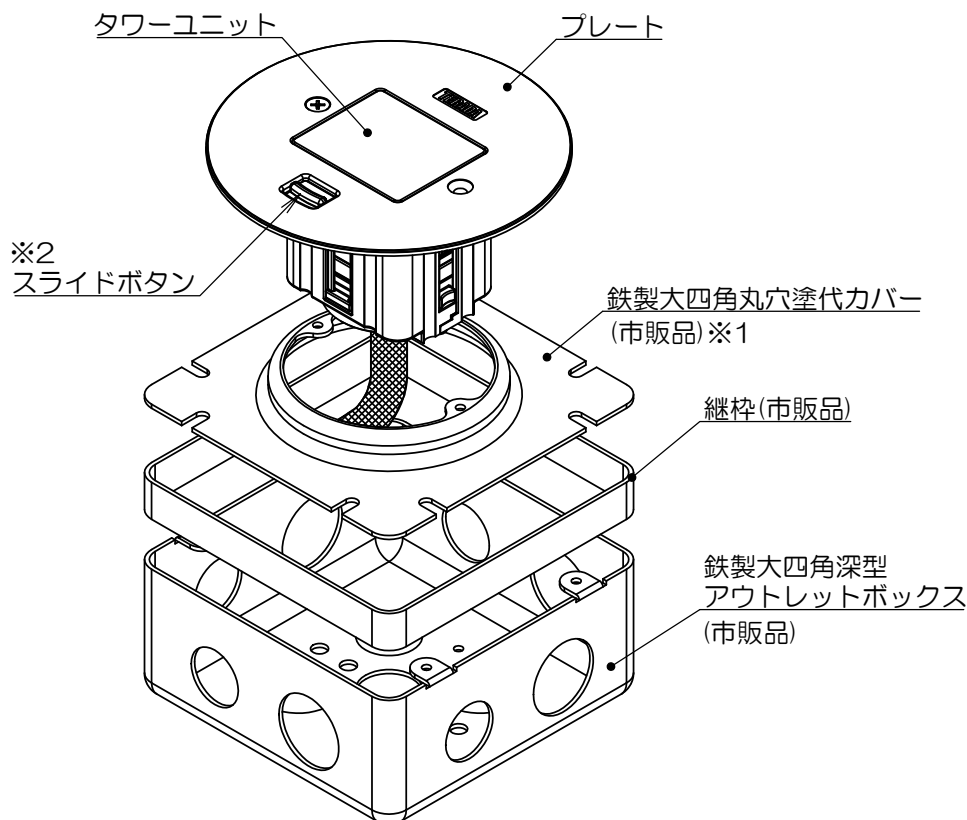
※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

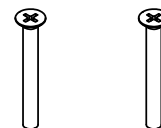
 警告	
 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
 必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実にこなってください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
	◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。

 注意	
 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
	◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
	◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
	◆床暖房が施されている床に施工する場合はボックス内の結露に十分ご注意ください、熱源からの距離を確保してボックス内温度が-10～+40℃を超えないようご使用ください。 ⇒漏電・感電・火災の原因となります。
 必ず守る	◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆各取付ネジは確実に固定してください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。 (インパクトドライバーの使用不可)
	◆コンセント使用状態時に上または横からの荷重、衝撃が加わらない状態でご使用ください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。

◆部品構成と名称



添付品



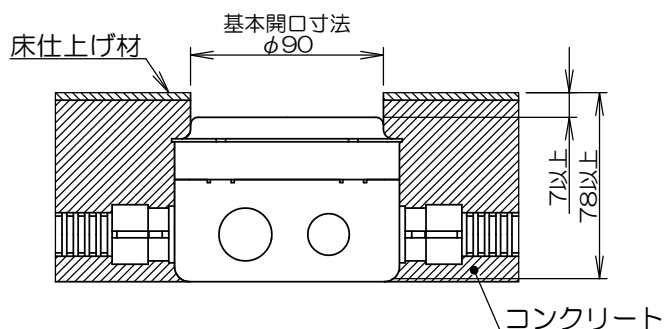
プレート取付用サラネジ
M4×35 2本

◆注意◆

- 樹脂製塗代カバーは適合致しません。
- スライドボタンを、ドライバー等で強く押さないでください。
破損・機能不良の原因となります。
- 取付用ネジは、定期的に増し締めを行ってください。

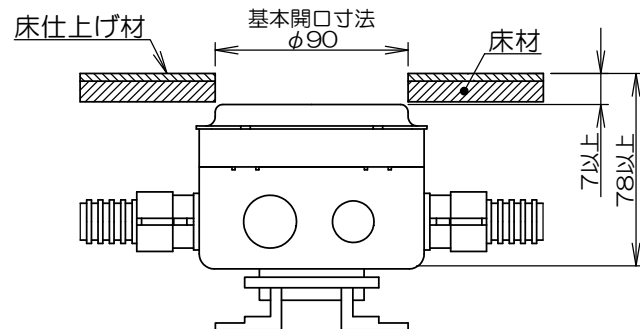
施工方法

床面の開口



打ち込みの場合

ボックス打ち込み後、塗代カバー上部のコンクリートにハツリ作業を行ない、床仕上げ材にも同じ開口を施します。



二重床の場合

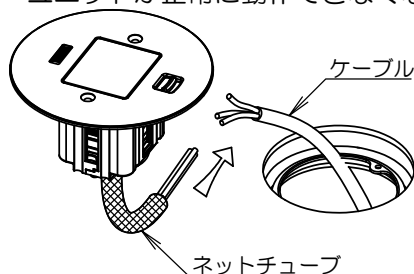
ボックス固定後、塗代カバー上部の床材と床仕上げ材に同じ開口を施します。

1 ケーブルの接続

ボックスに引き込まれているケーブルを、コンセントのリード線に確実に接続してください。

◆注意◆

- ・リード線のネットチューブは絶対に外さないでください。断線などの原因になります。
- ・ケーブルの引き込みは最小限に抑えてください。引き込みが長すぎると、ボックス内に十分なスペースが取れなくなり、タワーユニットが正常に動作できなくなる原因となります。

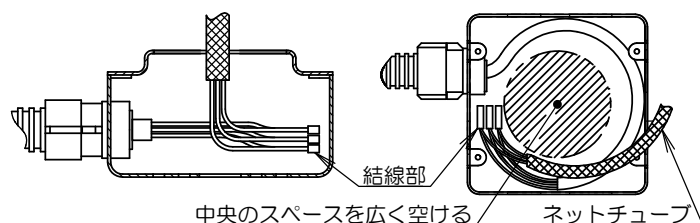


2 接続部の収納

結線部をアウトレットボックス内に戻した後、結線部とケーブルをボックス側面に寄せて、プレート本体が収まるスペースを広く空けてください。

◆注意◆

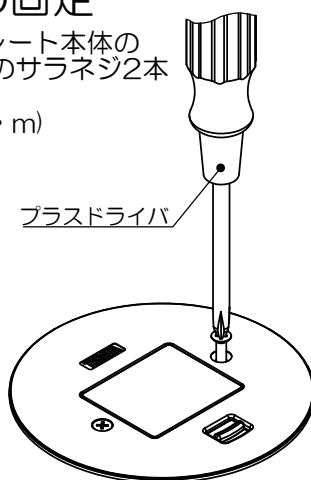
- ・リード線及びケーブルを、プレート本体内に押し込まないでください。使用時、断線などの原因になります。
- ・ボックスの中央部に十分なスペースが取れていないとタワーユニットが正しく上下動しない場合があります。



中央のスペースを広く空ける
ボックス内配線イメージ

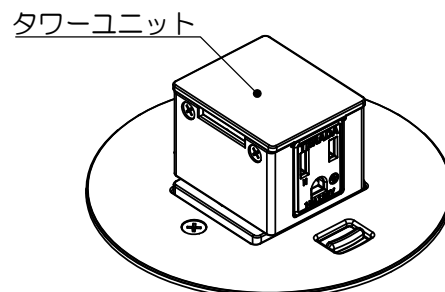
3 プレート本体の固定

塗代カバーのM4タップとプレート本体のサラ穴の位置を合わせ、添付のサラネジ2本で固定してください。
(推奨締め付けトルク：0.8N・m)



4 上下動作・回転動作確認

プレート本体の施工完了後、タワーユニットの上下動作、回転動作が正常に行なえるか確認をしてください。
うまく動作しない場合は、手順[2]を確認してください。



◆注意◆

コンセント使用状態時に上または横からの荷重、衝撃が加わらない状態でご使用ください。

■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361